

# (新) デジタルDEJI-MA推進費

【デジタル戦略課 予算額22,755千円】

【企業振興課 予算額 2,593千円】

## 事業の目的

○県内外企業が有するソリューションや次世代空モビリティ技術の普及、企業間マッチングによるイノベーション促進等のためイベントを開催

## 事業の概要

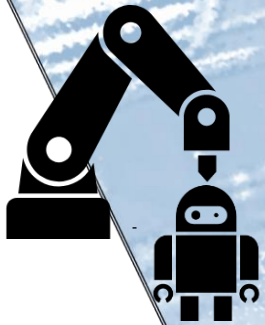
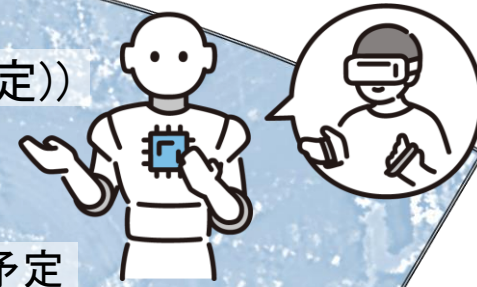
○ 9月初旬に3イベント同時開催(メイン会場:出島メッセ長崎(予定))

### ながさきDEJI-MA産業メッセ2023

- ・ 県内外企業によるデジタル技術展示・商談会、マッチング
- ・ 最先端技術に関するシンポジウム、ビジネスプランコンテスト等を予定
- ・ 国内の空モビリティ関連企業・団体が一堂に会し、次世代空モビリティに係る意識醸成並びに普及促進
- ・ 最先端のドローンや空飛ぶクルマに関する技術の展示やデモフライト、VR体験会などを実施(予定)

### 半導体産学コネクト

- ・ 県内半導体関連企業や大学高専による技術展示会
- ・ 半導体業界の魅力を伝えるPRブースの出展を予定



# ながさきSociety5.0推進費

## 事業の目的

【デジタル戦略課 予算額70,476千円】

○Society5.0の実現に向け、メタバース空間構築や民間専門人材の登用、行政・民間のデータを連携させる基盤の機能拡充やさらなるデータの充実等を実施

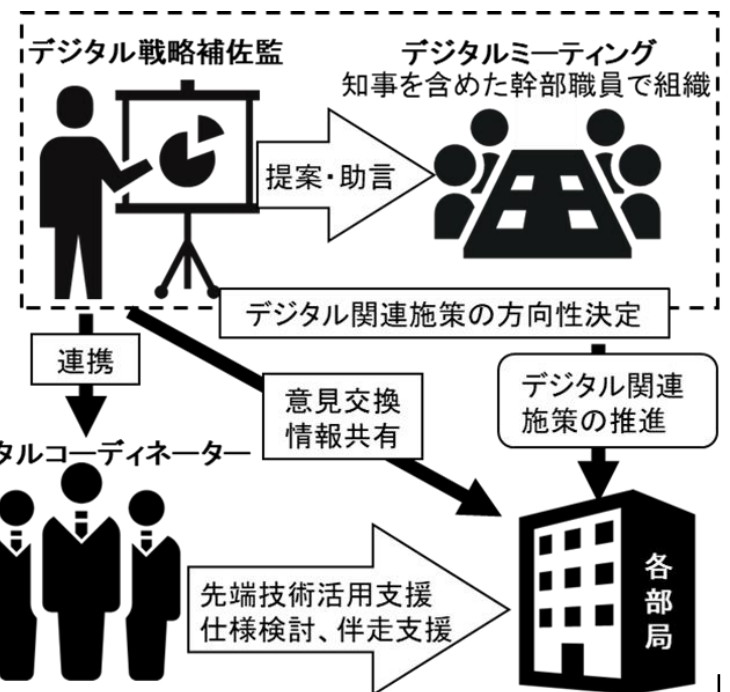
## 事業の概要

### メタバース空間の活用

仮想空間におけるコミュニケーションの円滑化や様々な分野における活用を促進

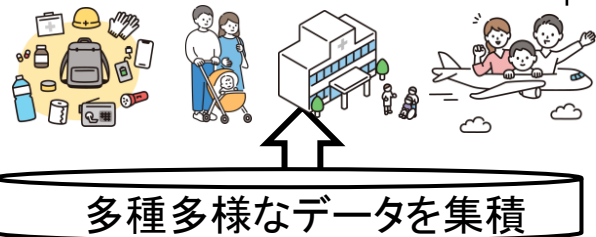


### 民間人材登用(デジタル戦略補佐監、デジタルコーディネーター)



### データ連携基盤

行政・民間の有する多種多様なデータを集約・連携させる基盤を活用した地域課題解決に向け、機能拡充やデータの充実



防災、子育て、医療、観光等様々な分野のサービス創出を目指す

# (新)観光DX・プロモーション事業費

## 事業の目的

【観光振興課 予算額 69,274千円】

○ 観光客の価値や形態の変化に対応した誘客を図るため、データを活用したマーケティング分析に基づく戦略的なプロモーション等を実施

## 事業の概要

### データを活用したマーケティングの強化

<宿泊情報等のデータ及び分析ツールの整備>

<マーケティング分析、効果検証>

◆効果検証による改善を反映し、プロモーション効果の最大化を図る

### 戦略的なプロモーション等の実施

<WEB、動画、SNS、マスメディア(テレビ番組)等を活用したプロモーション>

<ながさき旅ネット、ブログ(「#ナガサキ旅」 「GO!GO!ともっち」)での情報発信>

<東京日本橋長崎館観光案内コーナーの運営>



# (新)ながさき農業デジタル化促進事業費

【農産園芸課 予算額 75,318千円】

## 事業の目的

○「快適で儲かる農業」を実現し多様な人材の定着・活躍を図るため、デジタル技術を使いこなす人材育成と技術導入支援を一貫して実施

## 事業の概要

### 次世代農業デジタル人材の育成 12,744千円

○ 遠隔地の少人数産地の存在など、生産者間のデータ共有による生産効率向上に制約のある本県において、産地内及び産地間でデータや事例を共有する勉強会等を通して、データ駆動型技術や遠隔・自動化技術を使いこなす次世代農業デジタル人材を育成

### 次世代デジタル産地づくりへの支援 62,574千円

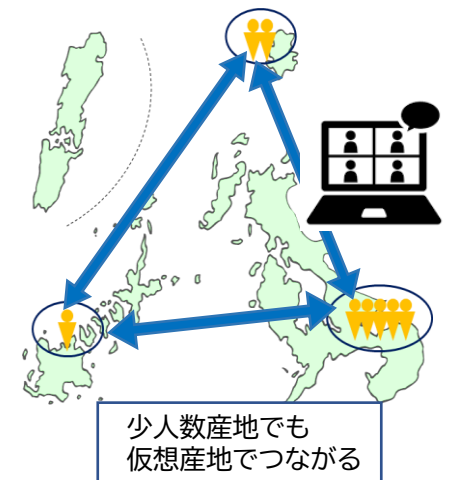
○ 勉強会に参加し、現場データの共有に応じる生産者を対象にデータ駆動型技術及び遠隔・自動化技術の導入を支援

・ 補助率：県 1/3、市町 1/10以上

・ 導入技術(例)

データ駆動型技術：環境制御機器、圃場情報等管理システム等

遠隔・自動化技術：自動換気装置、水田水管理システム等





# 県産水産物国内販売強化事業費

【水産加工流通課 予算額30,755千円】

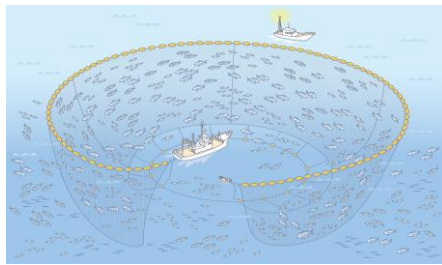
## 事業の目的

- 水産加工品の商品開発支援、大口取引開拓支援に加え新たに省力化等に資するデジタル機器導入を支援(補助率:1/2)

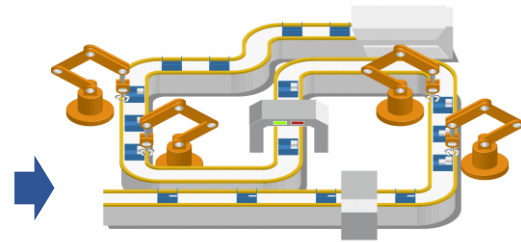
## 事業の概要

<b>NEW</b> デジタル機器整備支援	業務省力化等に資するデジタル機器の整備を支援
新商品開発支援	バイヤーと連携して行う、消費者ニーズにマッチした商品開発等を支援
大口取引開拓支援	大口取引の開拓に向け、商社等と連携した商品作りに必要な商材サンプルの出荷経費等を支援

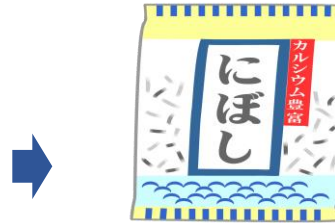
### ◆ 導入想定機器の例(煮干異物除去機)



- ・まき網での大量漁獲により煮干原料に様々な異物が混入



- ・異物をAIにより検出・除去することで人的作業からの省力化



- ・製品として出荷。大口取引へ繋げる

# (新)マイナンバーカード普及促進事業費

【市町村課 予算額65,000千円】

## 事業の目的

○マイナンバーカードの交付率向上を図るため、市町と連携して、未取得者に対する申請促進策を展開

## 事業の概要

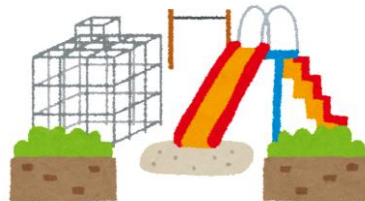
➡ 現場の市町と連携して、未取得者に対するきめ細かなアプローチが必要

### 出張申請サポート・受付

○申請受付に必要な機器等を備えた自動車によって、県内各地を巡回し、県民に身近な施設(公園、公民館、各種施設等)で申請サポート・受付を実施



実施場所は市町と協議の上決定



# (新)公共土木施設占用許可システム整備事業費

【道路維持課	予算額 1,095千円
【港湾課	予算額 6,308千円
【河川課	予算額 5,120千円
【漁港漁場課	予算額 5,289千円

## 事業の目的

○ 占用許可システムを一体的に構築し、申請から料金納付までをオンライン化することで、県民サービスの向上・管理業務の効率化・負担軽減を図り、スマート自治体実現を推進

## 事業の概要

### <取組内容>

- ・道路、港湾、空港、河川、漁港施設の占用許可システムを一体的に整備
- ・デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)を活用予定

### 《現 状》

○紙による申請（郵送・持参）



●申請内容の審査（手処理）

●料金計算（Excel）

●許可書発行（Word）

●台帳整理（Excel）



●納付書発行（財務システム）



○料金納付（金融機関で納付）



### 《目指す姿》

【R5：開発・試行、R6：本格運用、R7：他システムと連携】

○電子申請システムにより申請



●申請内容の審査（重複許可確認等）

●料金計算

●許可書発行

●台帳作成

⇒ システムにより自動化



○料金納付

⇒ キャッシュレス決済等を導入

# スマート県庁プロジェクト費（行政のデジタル化推進関係）

【スマート県庁推進課 予算額75,397千円】

## 事業の目的

○県庁のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、業務効率化と県民サービス向上を図るため、先進技術の導入やデジタル人材育成等を実施

## 事業の概要

### 新技術導入に係る費用

- ・問い合わせ対応業務の効率化のため、AI技術を活用したチャットボット等を導入
- ・ノンコア業務（職員でなくともできる判断不要な業務）の省力化のためノーコード開発ツール等の効果検証やRPA・AI等の活用を継続して実施

### DX人材育成費

- ・県庁DX推進の中心となるようなコア人材を育成するため研修を実施

### 財務会計システム等再構築（基本設計）

- ・県庁内で多くの職員が使用している「財務会計システム」及び「予算編成システム」について、関係システムや業務を含めた統合・再構築に向け、基本設計に着手

